

福島県は CDR体制整備 モデル事業

チャイルド・デス・レビュー

を実施しています。

世の中を
目指す
ために

子どもたち
にとって
より安全で
安心な



福島県では、令和3年度より厚生労働省チャイルド・デス・レビュー
(CDR:予防のための子どもの死亡検証)体制整備モデル事業を始めました。
今後、子どもにとってより安全で安心な世の中を目指すため、ご理解とご協力をお願いします。

チャイルド・デス・レビュー

CDRとは ～予防のための子どもの死亡検証～

子どもが死亡したときに、その原因などについて、多くの専門機関(病院、保健所、児童相談所、警察等)が情報や意見を持ち寄り話し合い、「次に同じような死亡が起きないための予防策」を検討して実施しようとする制度です。